

八三九番

春の野に 霧立ち渡り 降る雪と 人の見るまで
梅の花散る

八四〇番

春柳 縵に折りし 梅の花 誰か浮かべし
酒坏の上に

八四一番

うぐひすの 音聞くなへに 梅の花 我家の園に
咲きて散る見ゆ

八四二番

我がやどの 梅の下枝に 遊びつつ うぐひす鳴くも
散らまく惜しみ